

## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月29日

上場会社名 株式会社遠藤製作所

上場取引所 大

コード番号 7841 URL <http://www.endo-mfg.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 健治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 佐藤 俊明

TEL 0256-63-6111

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	7,399	49.6	340	—	225	—	120	—
22年3月期第2四半期	4,946	△48.4	△567	—	△471	—	△954	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	13.30	—
22年3月期第2四半期	△105.16	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	17,684	10,859	61.4	1,195.99
22年3月期	17,783	10,921	61.4	1,202.84

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 10,859百万円 22年3月期 10,921百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,144	20.8	1,291	231.8	1,143	150.6	900	—	99.12

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期2Q	9,441,800株	22年3月期	9,441,800株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	362,300株	22年3月期	362,300株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期2Q	9,079,500株	22年3月期2Q	9,079,500株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「1.(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(第2四半期連結累計期間) .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の増加や企業収益の持ち直し等により、一部で景気回復の兆しが見られたものの、所得環境及び雇用情勢は依然と改善しないまま、急激な円高の進行等もあり、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、主力のゴルフ事業で製造コストの低減、生産の効率化及びリードタイムの短縮等を図るため、前連結会計年度においてアイアンヘッドの鍛造・金型工程をタイ国の在外子会社に移管する等、より競争力ある差別化製品の供給に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高73億99百万円（前年同期比49.6%増）となりました。利益面につきましては、売上高の増加及び製造工程の移管効果等から、営業利益3億40百万円（前年同期は5億67百万円の営業損失）、経常利益2億25百万円（前年同期は4億71百万円の経常損失）、四半期純利益1億20百万円（前年同期は9億54百万円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (ゴルフ事業)

ゴルフ事業につきましては、国内において若手プロゴルファーの活躍によりゴルフへの関心が高まっており、ゴルフ人口も増加傾向にあることから、ゴルフクラブ市場は僅かながら回復の兆しが見られ、売上高は40億59百万円（前年同期比32.7%増）、営業利益56百万円（前年同期は2億88百万円の営業損失）となりました。

#### (ステンレス事業)

ステンレス事業につきましては、市場の持ち直しからステンレス製極薄管（メタルスリーブ）の受注が増加したこと等で、売上高は6億36百万円（前年同期比29.6%増）、営業利益1億45百万円（前年同期は85百万円の営業損失）となりました。

#### (自動車等鍛造部品事業)

自動車等鍛造部品事業につきましては、自動車産業が急速に需要回復していること等から、売上高は27億3百万円（前年同期比93.6%増）となりました。営業利益は、売上高が増加したことにより4億24百万円（同601.3%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結期間末における資産合計は、176億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ98百万円減少いたしました。

流動資産は、97億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ36百万円増加いたしました。この主な要因は、現金及び預金が増加したこと等によるものであります。固定資産は、79億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億34百万円減少いたしました。この主な要因は、減価償却により建物及び構築物が減少したこと等によるものであります。

負債合計は、68億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ36百万円減少いたしました。

流動負債は、39億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ40百万円減少いたしました。この主な要因は、短期借入金が増加したこと等によるものであります。固定負債は、28億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円増加いたしました。この主な要因は、資産除去債務の計上等によるものであります。

純資産合計は、108億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円減少いたしました。この主な要因は、マイナスの為替換算調整勘定が増加したこと等によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、26億30百万円（前年同期比57.9%増）の収入となりました。これは主に、売上債権の減少11億14百万円、減価償却費5億58百万円、たな卸資産の減少2億81百万円、税金等調整前四半期純利益1億83百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億76百万円（同20.8%増）の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3億24百万円、定期預金の増加1億53百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、6億84百万円（同281.5%増）の支出となりました。これは主に、短期借入金の減少や長期借入金の返済による支出、配当金の支払等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は31億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億89百万円増加いたしました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年10月25日付で、平成23年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値を修正しておりますが、通期の連結業績予想につきましては、現時点におきまして平成22年5月14日付で公表いたしました業績予想数値に変更はありません。また、今後の動向を踏まえ、修正が必要と判断された場合には速やかに公表いたします。

なお、業績予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって記載の業績数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算出方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

#### 2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益は、それぞれ0百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は、41百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は55百万円であります。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,108,177	2,530,424
受取手形及び売掛金	2,908,943	4,043,627
有価証券	—	35,405
商品及び製品	613,330	554,290
仕掛品	556,923	612,568
原材料及び貯蔵品	1,317,236	1,615,294
繰延税金資産	71,193	13,856
その他	214,753	359,293
貸倒引当金	△16,392	△27,185
流動資産合計	9,774,165	9,737,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,907,902	2,974,830
機械装置及び運搬具（純額）	2,368,236	2,406,716
工具、器具及び備品（純額）	158,184	169,473
土地	1,668,895	1,614,680
建設仮勘定	111,188	165,025
有形固定資産合計	7,214,406	7,330,727
無形固定資産		
投資その他の資産	34,325	35,105
投資有価証券	67,873	77,399
繰延税金資産	5,804	4,231
投資不動産（純額）	346,274	347,759
その他	256,040	264,050
貸倒引当金	△14,147	△13,831
投資その他の資産合計	661,846	679,609
固定資産合計	7,910,579	8,045,441
資産合計	17,684,744	17,783,018

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,695,950	1,311,020
短期借入金	1,163,098	1,722,000
未払法人税等	122,398	99,871
未払金及び未払費用	580,426	660,293
賞与引当金	213,840	96,575
その他	159,581	86,122
流動負債合計	3,935,296	3,975,883
固定負債		
長期借入金	1,913,003	2,266,562
繰延税金負債	73,812	70,512
退職給付引当金	194,237	176,775
役員退職慰労引当金	202,729	203,107
資産除去債務	56,252	—
その他	450,383	169,030
固定負債合計	2,890,420	2,885,987
負債合計	6,825,716	6,861,871
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,241,788	1,241,788
資本剰余金	1,183,816	1,183,816
利益剰余金	9,340,439	9,310,478
自己株式	△192,297	△192,297
株主資本合計	11,573,746	11,543,785
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△24,320	△14,795
為替換算調整勘定	△690,397	△607,842
評価・換算差額等合計	△714,718	△622,638
純資産合計	10,859,028	10,921,147
負債純資産合計	17,684,744	17,783,018

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	4,946,708	7,399,064
売上原価	4,729,830	6,138,876
売上総利益	216,878	1,260,188
販売費及び一般管理費	784,779	919,220
営業利益又は営業損失(△)	△567,901	340,967
営業外収益		
受取利息	3,167	2,232
受取配当金	878	853
投資不動産賃貸料	11,519	8,977
為替差益	163,214	—
その他	24,851	20,410
営業外収益合計	203,631	32,474
営業外費用		
支払利息	55,277	54,351
減価償却費	31,410	16,524
シンジケートローン手数料	9,412	8,310
為替差損	—	61,635
その他	11,625	7,017
営業外費用合計	107,726	147,840
経常利益又は経常損失(△)	△471,996	225,600
特別利益		
固定資産売却益	7,801	7,313
貸倒引当金戻入額	15,102	10,476
特別利益合計	22,904	17,790
特別損失		
固定資産売却損	13,876	2,167
固定資産除却損	6,188	16,741
事業再編損	443,626	—
保険解約損	11,795	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	41,049
特別損失合計	475,487	59,958
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△924,579	183,432
法人税、住民税及び事業税	67,139	120,181
法人税等調整額	△36,915	△57,504
法人税等合計	30,223	62,676
少数株主損益調整前四半期純利益	—	120,756
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△954,803	120,756

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△924,579	183,432
減価償却費	594,802	558,808
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	41,049
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△14,937	△10,476
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,000	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	33,096	117,264
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△397,366	△377
受取利息及び受取配当金	△4,046	△3,086
支払利息	55,277	54,351
為替差損益(△は益)	△6,519	61,215
有形固定資産売却損益(△は益)	△4,079	△5,145
有形固定資産除却損	6,188	16,741
事業再編損失	443,626	—
保険解約損益(△は益)	11,795	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,756,210	1,114,410
たな卸資産の増減額(△は増加)	795,026	281,245
仕入債務の増減額(△は減少)	△711,286	172,520
未収消費税等の増減額(△は増加)	119,181	9,133
その他	157,611	86,941
小計	1,897,002	2,678,030
利息及び配当金の受取額	4,630	3,216
利息の支払額	△50,399	△55,846
事業再編による支出	—	△1,192
法人税等の支払額	△185,114	△96,070
法人税等の還付額	—	102,256
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,666,118	2,630,394
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	170,984	△153,507
有形固定資産の取得による支出	△671,217	△324,726
有形固定資産の売却による収入	4,245	11,049
無形固定資産の取得による支出	△1,453	△7,809
投資不動産の売却による収入	65,000	—
その他	38,201	△1,191
投資活動によるキャッシュ・フロー	△394,239	△476,186
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△681,900	△540,000
長期借入れによる収入	982,800	—
長期借入金の返済による支出	△363,594	△353,532
リース債務の返済による支出	△25,905	△46,382
セール・アンド・リースバックによる収入	—	346,341
配当金の支払額	△90,795	△90,795
財務活動によるキャッシュ・フロー	△179,394	△684,368
現金及び現金同等物に係る換算差額	49,989	△80,551
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,142,473	1,389,287
現金及び現金同等物の期首残高	1,962,851	1,805,407
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,105,324	3,194,695

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	ゴルフ事業 (千円)	ステンレス 事業 (千円)	自動車等鍛 造部品事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,059,584	491,027	1,396,095	4,946,708	—	4,946,708
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4,527	—	—	4,527	(4,527)	—
計	3,064,112	491,027	1,396,095	4,951,235	(4,527)	4,946,708
営業利益又は営業損失(△)	△288,402	△85,506	60,513	△313,394	(254,506)	△567,901

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
ゴルフ事業	アイアンヘッド・アイアンクラブ、 メタルウッドヘッド・メタルウッドクラブ等
ステンレス事業	ステンレス製極薄管(メタルスリーブ)
自動車等鍛造部品事業	自動車鍛造部品、自動二輪鍛造部品等

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	日本 (千円)	タイ・ベトナム (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,550,133	1,396,574	4,946,708	—	4,946,708
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	201,868	3,941,565	4,143,434	(4,143,434)	—
計	3,752,001	5,338,140	9,090,142	(4,143,434)	4,946,708
営業損失(△)	△274,386	△49,593	△323,979	(243,921)	△567,901

(注) 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	1,960,364	904,829	111,562	2,976,757
II 連結売上高（千円）	—	—	—	4,946,708
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	39.6	18.3	2.3	60.2

- （注）1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。  
 2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。  
 (1) アジア……………タイ、中国、ベトナム他  
 (2) 北米……………米国、カナダ  
 (3) その他の地域……オランダ、英国、オーストラリア他  
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域に対する売上高であります。

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

しがたって、当社グループは、事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「ゴルフ事業」、「ステンレス事業」及び「自動車等鍛造部品事業」の3つを報告セグメントとしております。

「ゴルフ事業」はゴルフヘッド及びゴルフクラブを生産しております。「ステンレス事業」は、ステンレス製極薄管（メタルスリーブ）を生産しております。「自動車等鍛造部品事業」は、自動車鍛造部品、自動車二輪鍛造部品及び農作業車両鍛造部品を生産しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 （注）1	四半期連結 損益計算書 計上額 （注）2
	ゴルフ事業	ステンレス 事業	自動車等鍛 造部品事業	計		
売上高						
（1）外部顧客に対する売上高	4,059,463	636,266	2,703,334	7,399,064	—	7,399,064
（2）セグメント間の内部売上高又は振替高	4,904	—	—	4,904	△4,904	—
計	4,064,368	636,266	2,703,334	7,403,969	△4,904	7,399,064
セグメント利益	56,999	145,473	424,378	626,851	△285,884	340,967

（注）1. セグメント利益の調整額△285,884千円には、セグメント間取引の消去△4,904千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△280,979千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。